

近畿ブロック長

後藤 久美子(一般社団法人 神戸市手をつなぐ育成会
会長)

中国・四国ブロック長

秋友 英稔(社会福祉法人 高知県知的障害者育成会
理事長)

九州・沖縄ブロック長

田中 寛(公益社団法人 沖縄県手をつなぐ育成会
理事長)

監事

向井 公太(社会福祉法人 福岡市手をつなぐ育成会
理事長)

七宮 弘(一般社団法人 福島県手をつなぐ親の会
連合会 代表理事)

監事 小山 直幸〔(社福) 大阪市障害者福祉・
スポーツ協会 障がい者スポーツ
振興部 スポーツ振興室 参事〕

監事 南石 勲〔(社福) ワクスエオン 所長〕

なお、前業務執行理事 角森 佐伎子氏は、令和5年6月開催の定時評議員会をもって退任されました。大変お世話になりました。

～退任のご挨拶～

前業務執行理事 角森 佐伎子

この度、任期満了により理事を退任いたしました。長きに渡り会員みなさまにご支援、ご協力を賜りましたこと心より御礼申し上げます。

振り返ってみますと、育成会は事業体として、また運動体としても大きな波をいくつも乗り越えてまいりました。

制度が整っておらずサービスも充分になかった時代には、自ららが事業所を立ち上げ多くのボランティアと共に様々な支援を展開してきました。「あそこでこんな取り組みしているよ」「こんなことに困っているんだけど」「親なき後が心配」などの声から、一つずつサービスを創り上げていた頃は、「やっぱり育成会」との評価もたくさんいただきました。

しかし、現在では制度が充実し社会福祉事業に株式会社等が参入できるようになりました。収益を目的とする組織が社会福祉事業に馴染むのだろうかとの懸念はありますが、その資金力と機動力で展開が早くニーズに応じ素早く柔軟に対応されています。時には、そのサービスは制度に則っているのか、事業の継続は可能なのかと感ずることもあります。このような時代に育成会の役割は何なのかを考える時、会員の皆さまや利用者の皆さんに寄り添いお声を聴き、継続可能な事業展開をしていくことだとの思いに至ります。私も個人としてそのお役に立てればと考えています。

今一度、『事業体と運動体の両輪』の意味を見出し、大阪市手をつなぐ育成会がますますのご活躍、ご発展されることを心よりお祈り申し上げます。



大阪市手をつなぐ育成会 第15期 役員について

大阪市手をつなぐ育成会では、第14期の役員任期が終了するため役員改選を行いました。

令和5年6月27日に開催した令和5年度 定時評議員会で、次の10名の方を役員として選任し、同日、開催した令和5年度 第3回理事会で、理事長・副理事長が決定いたしました。

任期は令和5年6月27日から選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時(令和7年度の決算評議員会)までとなります。

理事長 長谷川 美智代〔相談支援くりいむ
相談支援専門員〕

副理事長 上宮 俊一〔(社福) 大阪市手をつなぐ育成会
事業統括〕

副理事長 中島 由紀子〔東成育成園 元保護者会長〕

理事 鶴浦 直子〔大阪公立大学大学院 講師〕

理事 中村 彰男〔(一財) 大阪市身体障害者
団体協議会 参与〕

理事 藤原 勇治〔港育成園管理者〕

理事 松村 ユカ〔港育成園 元保護者会長〕

理事 長谷 弥朋〔東成育成園 管理者〕

2022年度(令和4年度) 事業報告について

令和4年度にかかる理事会と評議員会を開催し、議案として2022年度(令和4年度) 事業報告書(案)